

「里山ガーデン」はこのままでいいの？ ～これまでの経緯と問題点を整理しました



5月3日、「里山ガーデンへ“里山”を探しに行こう！」を開催。昨年度に開催した「意見交換会」で得られた情報や既存資料を踏まえて、今後の公園計画についての提言を作成し、HPにて公開しました。「里山ガーデン」を含む横浜動物の森公園未整備区域基本計画（案）について行われたパブリックコメントへの参加を呼びかけました。

里山保全ボランティア安全技能研修

（協力：株式会社かんぼ生命保険、国土緑化機構緑の募金）

安全で楽しい里山保全活動を行うために、安全に楽しく進めるための計画づくり講座や手工具、動力機械の使い方などの講習を実施しました。



受託事業

- 東京海上日動火災（株）より「Green Gift 地球元気プログラム」の企画・運営。「親子で竹灯籠づくり」等
- 横浜市環境創造局より「森づくりボランティア養成講座」講師
- 横浜市環境創造局、(株)CESより「インタープリター養成講座」運営補助・講師
- 横浜市環境創造局より「古橋市民の森保全管理計画」アドバイザー
- 横浜市環境創造局より「平成30年度横浜市保育所・小中学校等ピオトープ整備等指導業務委託」整備など指導
- (公財)横浜市の協会の協より「長浜公園トンボ池管理等業務委託」トンボ池等の管理や子どもたちに対する啓発事業

ウェブサイト & ソーシャルメディア

「里山ガーデン」の影響により、公式 HP 訪問者数の最高記録を更新。facebookのフォロワーは1,200名を超えました。

里山と暮らしをつなぐメールマガジン

毎月メルマガを 2,400 アドレス以上にお届けしています。毎月コツコツ丸10年！今年5月には120号を配信しました。

委員・講演実績

委員

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・林野庁補助事業（森づくりフォーラム）検討委員会
- ・神奈川県里山里山保全協議会
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会

講演等

- ・グリーン連合地域交流会基調講演
- ・国土緑化推進機構助成金セミナー報告
- ・多摩市環境学習セミナー講演
- ・多摩丘陵里山フォーラム講演（(公財)東京都公園協会）
- ・シンポジウム「生田緑地と市民活動のあり方」パネリスト（生田緑地マネジメント会議）
- ・JA 広報通信「里山とかかわる暮らし」コラム執筆
- ・横浜市環境創造局 環境教育出前講座

- ・台湾大学演習林関係者視察コーディネーター
- ・Indeed Japan (株) CSR 活動受け入れ

- ・NORAの森づくり活動に対して、プルデンシャル生命保険（株）様、（株）ファンケル様からご寄附をいただきました。



里山とかかわる暮らしを

特定非営利活動法人

よこはま里山研究所NORA

URL <http://nora-yokohama.org/>

e-mail info@nora-yokohama.org



特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 NORA

2018年活動報告

NORAの運営体制が、少数精鋭型から市民参加型へと転換したのは2008年のことでした。その後10年が経過して、次のステージへと踏み込む時期にあると感じています。「はまどま」をもっと地域へ開くとともに、里山を生かしたシゴトづくりをすすめ、私たちの暮らしも里山の生きものも豊かにする活動をリードします。



はまどま寄り合い

ムラ

2008年に宮宿花町内会に加入した活動拠点「はまどま」。もっと地域に開くために、室内の改修と運営体制の再編について話し合う「寄り合い」を重ねています。この取り組みは南区の「地域の居場所づくり支援モデル事業」に選定され、行政・地域の皆さんと連携しながら、来年3月にはかたちになるはず。NPO× 地域のかげ算によって、どのような化学反応が起こるのか楽しみです。



NORAの山仕事 ヤマ

2018年は間伐や製材などに取り組み、「利用できる森づくり」のコンセプトに沿った活動が行えました。新しいメンバーも増えて、和気あいあいと賑やかに作業が行えました。ウッドデッキも日々進化しています。



竹を活かす山仕事 ヤマ

2018年4月より新たな民有地の竹林整備にも取り組み始めました。整備への参加メンバーも増え安定した活動が行えています。横浜市内で真竹林を探しています！竹林整備にお困りの方がいらっしゃいましたら、是非お声がけ下さい！



よこはま里山 レンジャーズ ヤマ

レンジャーズに登録し、里山などの保全活動にチームで楽しく参加。受け入れ団体も、若物の参加で活性化し、より豊かな里山環境が保全されました。



まちの近くで里山 シゴトづくり (協力：(株)かんぱ生命保険) ヤマ

プロジェクトを立ち上げて3年目。フォーラムや実践ゼミを通じて、里山の恵みをもとに自立的な仕事と暮らしをめざす動きは強まっていると感じます。このネットワークと運動して、具体的なNORAの実例をつくりたいです。



森と畑と音楽と ノラ

今年は、新しい場所で畑をスタートさせました。また、田んぼでは市内の家族を対象に、田植えと稲刈りの体験を受け入れました。収穫祭も行う予定です。



野菜市でつなぐ農と人 ムラ

猛暑、長雨、台風襲来・・・年々、被害が深刻化する気候変動でも、農産物の生産をしてもらえることは当たり前ではないと思うのです。深く感謝しながら、皆様に！「子ども食堂」への農産物は生産者からの無償提供です。



神奈川野菜の食事会 ムラ

13年、通算130回も視野に入ってきました。生産者との絆を基本に、食卓を囲むメンバーも食材も、一期一会。大切な時間を共にできることが幸せです。



もったいないから竹細工 ムラ

竹かご教室は例年に引き続き、たくさんの方に参加して頂きました。竹細工工房では、活動日を月2から月3日へ増設しました。その他にも、嗜好性の高い作品を作れる事業を新たに始めました。そして竹剥ぎ機を購入したことで、更なる展開にも期待しています！



はまどまで土間仕事 ムラ

味噌を仕込む、梅干しを漬ける・・・季節の素材をできるだけ神奈川県内の素材を使って、時間が美味しくすることを実感する時間です。



はまどま手習い塾 ムラ

神奈川の素材を中心に、スイーツ等を作り最後にひと手間加えて楽しんだり、天然の香原料を使ったお香作り・・・今回はトルコ料理も習いました。



はまどま劇場 ムラ

里山の恵み・伝統文化に出会う上映会は災害列島での暮らしの姿。今を生きるヒントに溢れ、子どもたちを迎えて、紙芝居・民話の語りを始めます。町内会のハロウィンパーティーでは、大勢の家族が「はまどま」で記念写真！



はまどま諸々 ムラ

「光のぶろむなあど」光のアート作品展示の一翼を担い屋台では野菜たっぷりポタージュが好評。今後も稲わら細工・コスメリームのWSも計画しています。野菜収穫からフレンチフルコース・トルコ料理の手ほどき・神奈川の酒蔵飲み比べと神奈川野菜・猫ちぐら製作等、多彩な企画を持ち寄っていただきました。



地モノ市 ハレ

14年目になる「地モノ市」。生産者の子どもたちが成長し、担い手となっています。2018年も前日準備、当日合わせ、20名を超える皆さんがスタッフとして支えて下さいました。



旬の里山探訪 イキモノ

にははる里山交流センターで実施される観察会のPR協力をしています。毎月第1水曜(1月・8月は休み)に新治市民の森を2時間ほど楽しんでいきます。

里山コネクト (協力：NPO法人 a-con)

神奈川・東京多摩地域のフィールドで、自分に合った里山とのかかわり方を見つけてもらうために、新しいウェブサイト「里山コネクト」(satoyama-connect.info)を開設しました。プロボノ集団であるとの協働事業で、社会貢献する若い専門家・会社員たちと互いの長所を生かした楽しいコラボ経験でした。

